

The new Audi 80 Quattro



1982年、アウディ社に世界ラリーワークス チャンピオンシップ、そして1983年アウディ チームのハンス・ミッコラに世界ラリードライバー チャンピオンシップをもたらしたアウディ ラリークワトロ、84年を迎えてもモンテカルロ ラリー及びスエーデン ラリーに於

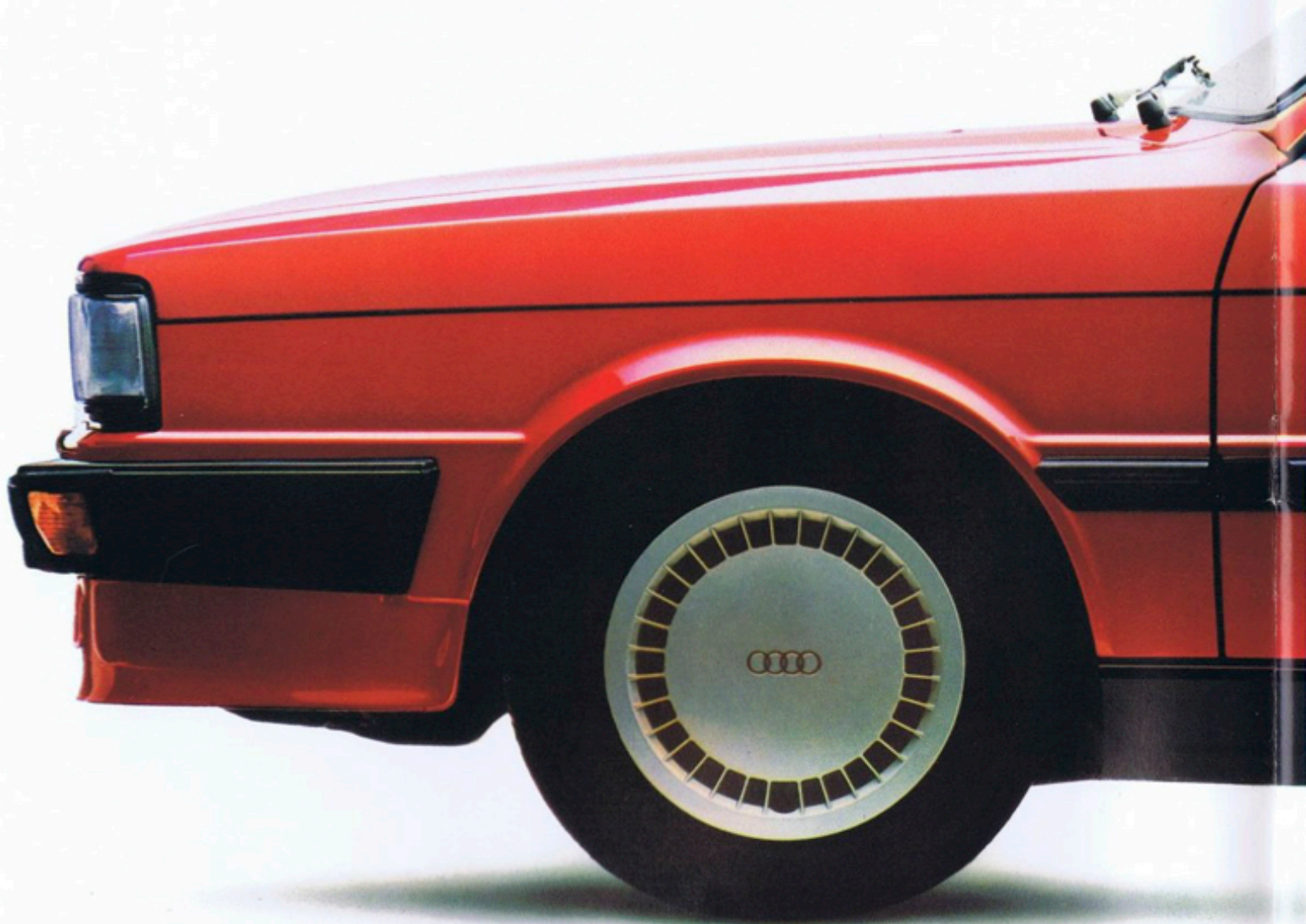
てそれぞれ1位～3位を独占、常勝將軍の勢いで空前の偉業を達成し、いまや、アウディ ラリークワトロは世界で最も恐れられるラリーマシンとなりました。アウディ クワトロの数々の輝しい戦績は、アウディが半世紀にわたって追いつづけてきた革新技術

の成果そのものといえます。想像を絶する悪条件が立ちはだかるラリー コースは、アウディ独自の常時四輪駆動技術の優秀性を世界に誇示するまたとない検舞台となりました。いま、このラリークワトロの熱い血を受け継いだアウディ 80 クワトロが登場、ついにクワトロ

もラリードライバーの独占から解放され、この車を待ちわびた世界の多くのモーターファンにもそのハンドルが明け放たれることになりました。アウディ 80 クワトロによって、いま、新しいドライブの世界の幕が開かれたのです。



ついに、あなたもクワトロのハンドルを握れるときがきた。



車のメーカーが、既成の設計思想や技術を越えて、未来指向の車を作ろうとする時、自分のもっている技術力に対して強い信念をもっていることが必要となります。何故なら、その新しいアイデアがいかに優れていても、必ずしも、すぐさま多くの人々に受け入れら

れるとは限らないからです。その古典的とも言える例が、アウディのフロント ホイール ドライプ方式です。アウディ社はすでに半世紀以前にこの方式の車を作り、以来この方式を頑くなに守り続けてきました。今日、いままでこの方式には目もくれなかった世

界の多くのメーカーが競ってFF車を作り出し、車の主流にまで育ちましたが、アウディのFF第一号車以来、実に半世紀の年月が過ぎているのです。しかし、FF全盛のいま、アウディの技術者はFFを乗り越えて、未来にその目を向けています。すでに

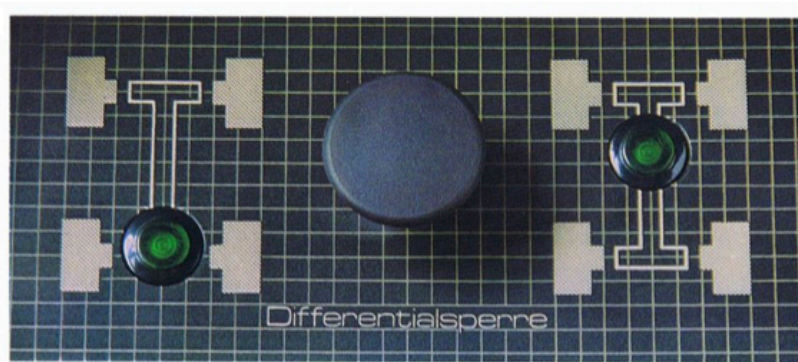
数年前、アウディは次の世代のくるま、常時四輪駆動車を世に送り出しているのです。アウディ クワトロこそ革新技術に生きるアウディスピリットの生きた証しといえることができます。



並みの四駆とは全く違う。 アウディ独自の 常時四輪駆動方式。

現在、四輪駆動のできる車は数多くあります。しかし、一般に四駆といわれている車は二輪を通常駆動輪として、パートタイムに於いて四輪駆動に切り替える方式をとっています。しかし、アウディクワトロの場合は常時四輪を駆動する所に、他の四輪駆動車とは決定的な相違があります。二輪駆動の車を一時的に四輪に切り替える方式では、実際の走行に於て大きな問題が未解決のまま残されています。例えば、急なコーナーを、高速のまま廻ろうとする時、前輪と後輪はその駆動回転数が異なることとなりますが、一時

的な四輪駆動方式では、このような場合、前輪と後輪の駆動回転差を補正することができません。そのため予期せぬ制動力が働くなど、著しく走行安定性を失うことがあります。このような問題を解決するために、アウディ 80 クワトロは、前輪用と後輪用のデフ（ディファレンシャル）とは別に、ギヤボックスの中にセンター デフを装備しています。エンジンからの動力は、インプット シャフトによってホローシャフト（空洞シャフト）を回し、センター デフによって差動されているホローシャフトの中空

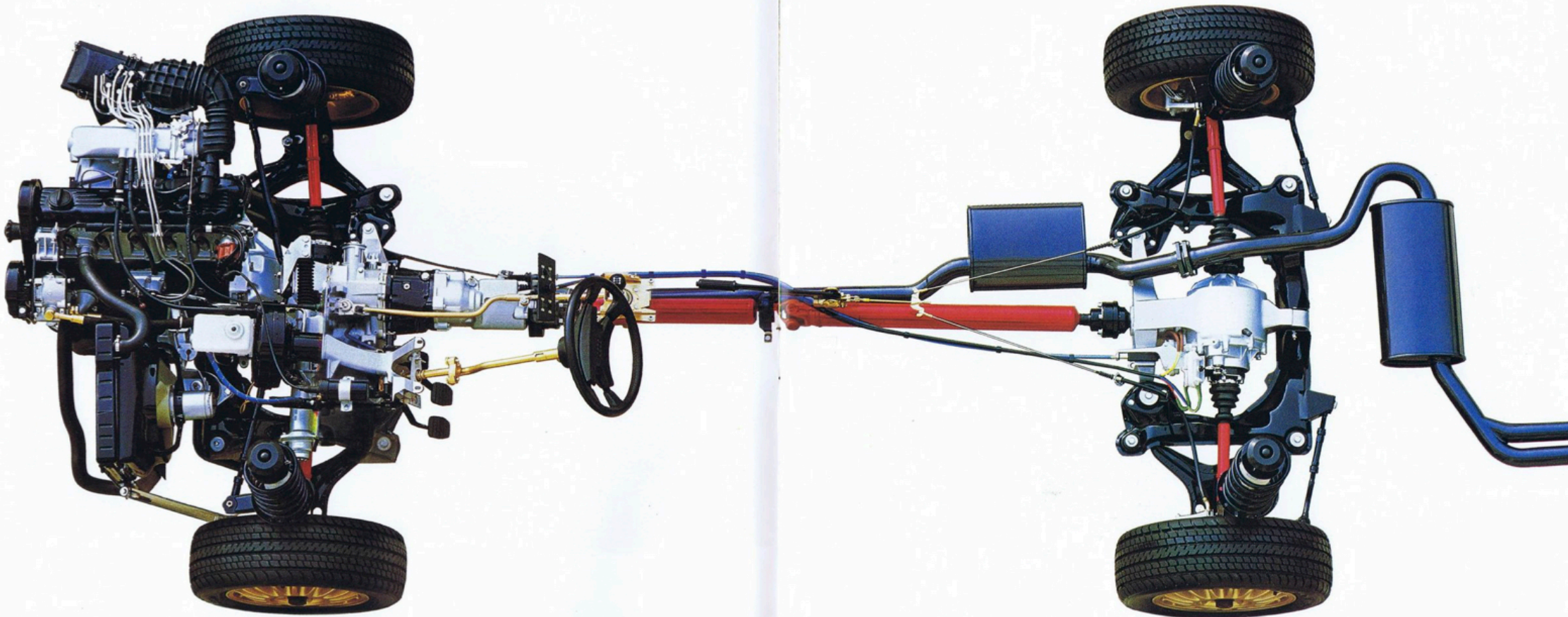


を
通
っ
て
い
る
ビ
ニ
オ
ン
シ
ャ
フ
ト
を
介
し
て
前
輪
デ
フ
へ
、
も
う
一
方
は
リ
ヤ
シ
ャ
フ
ト
を
介
し
て
リ
ヤ
デ
フ

へ
差
動
さ
れ
た
動
力
が
伝
達
さ
れ
ま
す
。
こ
の
セ
ン
タ
ー
デ
フ
の
働
き
に
よ
っ
て
、
前
輪
と
後
輪
の
回
転
差
が
補
正

さ
る
た
め
、
急
な
カ
ー
ブ
で
も
、
す
げ
な
走
行
安
定
性
を
保
持
し
て
高
速
の
ま
ま
廻
り
切
る
こ
と
が
で
き
ま
す
。

このセンター デフとリヤ アクスルのデフは、センターコンソールにあるノブを操作することによって、走行中でもロックすることができます。雪道や軟弱な路面などで、後輪さらにセンター デフをロックして、デフの働きを止め、両輪を均等に回転させることによって、しっかり路面をとらえ、スリップやホイールの空転を防ぐことができます。ラリー クワトロが、あらゆる悪路を乗り切る実力の秘密の一つがこの高度な技術による常時四輪駆動方式にあることは言うまでもありません。



抜群の操縦性、 パフォーマンス。

アウディ 80 クワトロのハンドルを握るとき、アウディ独自の常時四輪駆動方式の測り知れない実力を感じとることができます。エンジンパワーが前後四つのホイールに均等に分配されるため、どんな条件の悪い路面でもスピンを起すことはまずありません。四輪駆動それぞれ自身の力強いロードグリップは、さらに、リヤ及びセンターデフをロックすることによってさらに強化され、滑りやすい雪道やぬかるみでも力強く乗り切ることができます。アウディ独自のネガティブステアリング ロールラジ

アスのフロント アクスルと四輪駆動の相乗効果によって直進性能は一段と向上し、乾燥した路面も濡れた路面もハイスピードですぐれた安定性をもって一気に走破することができます。四輪駆動方式とシャープで的確なラック アンド ピニオン方式のステアリング (パワー アシスト付き) の組み合わせは極めてニュートラルなコーナリング性を発揮します。すぐれたロードホールディングによって急カーブも不安なく廻り切ることができます。エンジン ブレーキをかけた場合、

四輪に機械的な制動力が均等にかかるため、進路からそれることなく、しかも四輪にディスクブレーキを装備しているため制動距離も著しく短縮されます。方向安定性が向上しているため、路面状況が急に変る状況の下でアクセルをオフにしてもハンドルをとられる心配がありません。タイヤはスムーズに路面をとらえるので摩擦も少くすみます。アウディ 80 クワトロには世界をリードするアウディ技術が凝縮されているのです。



ドライバーに余計な気づかいをさせない
シンプル設計の Cockpit。

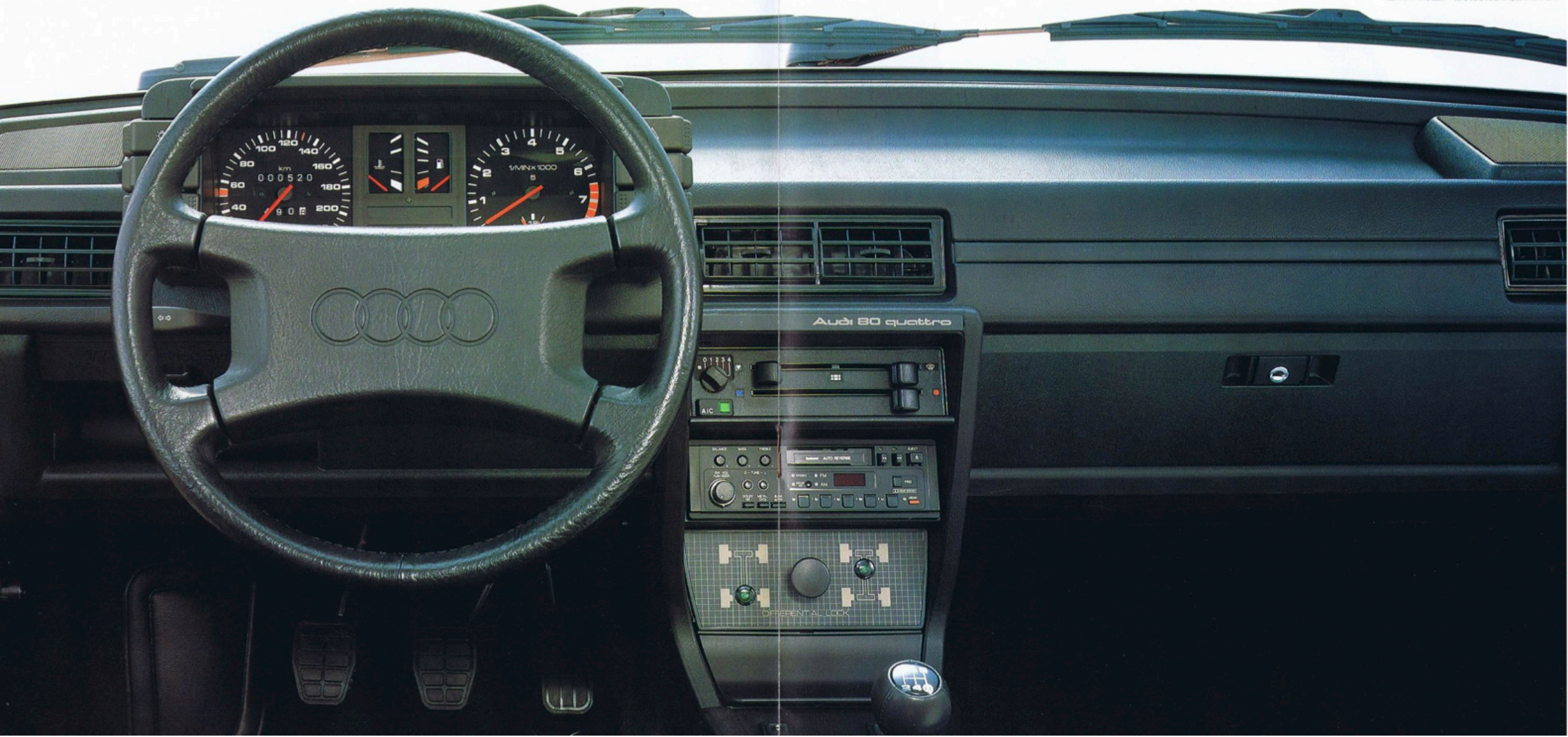
アウディ 80 クワトロの Cockpit は、ドイツ車ならではの端正なレイアウトで処理されています。インストルメント パネルには、伝統的な大型のスピードメーターとタコメーターがくっきりと大きく配置され、クォーツ時計、

温度計、警告灯が視覚をさまたげることなく配置されています。ライト類のスイッチがその左右に、またワイパー、ヘッドライトのスイッチ レバーはステアリングコラムの左右に配され、ハンドル操作を妨げない気くばりに徹してい

ます。ダッシュボードの両端及び中央にエアコンディショナー及び外気の吹出口があります。センターコンソールには高級オーディオシステム、センター及びリヤデフの操作ノブが配されています。

レーザー張りの四本スポークのステアリング ホイールがこのくるまのダイナミックな走りのすべてを語りかけています。アウディ 80 クワトロの Cockpit は、あなたを遠く見知らぬ地への旅に誘う魅惑に溢れています。

輸入される車種は一部写真と異なる場合があります



スポーティにしてエレガント。
キャビンにはロングツーリング
のための配慮が行届いています。

アウディ 80 クワトロの明るく、
広々とした室内には、スポーティ
な装いの中にもドイツ車ならではの
大人の雰囲気か漂っています。
シートとボディサイドは同一の
高級ツイードチェック地で張り
めぐらされています。フロントシ

ートは、しっかり体をホールドす
るフルクライニングのパケット
タイプ、新しいセンスの穴明きの
ヘッドレストが装備されていま
す。ドライバーズシートは高さの
調節も可能です。リヤシートも人
間工学に基づいたゆったりした設

計でロングドライブでの快適さを
約束しています。フロントはパワ
ーウインドー。左右のサイドミラ
ーはリモート電動調節式でドライ
バー側のアームレストにあるスイ
ッチで操作できます。
また前後四つのドア及びトランク

はセンター ロッキング システム
を採用、ドライバー側で一斉にロ
ック或はアンロックできます。ま
た、リヤ ドアは子供のいたずらで
不用意に開く恐れのないチャイル
ドブルー機構付きです。4スピ
ードのプロアーによるエアコンデ

ィション/ベンチレーション シ
ステムは車内を四季を通じて快適
に保ちます。
アウディ 80 クワトロには、コン
チネンタル ツアラーにふさわし
い快適さへの配慮がすみずみまで
行き届いています。



輸入される車輛は一部写真と異なります

ダイナミックな走りを
自ら語りかける
スポーティ ルックス。

黒のラジエーターグリル、ボディ
と同色の大きなエアダム スカー
トをもつフロントは、悪路を乗り
切るこのくるまの逞しいパワーの
象徴です。ボディ サイドは幅広い
プロテクティブ モールでガード

され、力強いアクセントをつくり
出しています。リヤにはボディと
同色のリヤ スポイラーとリヤ ア
ンダー スポイラーが装着され、こ
のモデルをいちだんときわだたせ
ています。スポーティなアルミホ

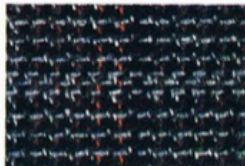
ールも標準装備です。エキゾ
ーストパイプは二本、快音をあとに
残します。ボディ カラーも豊富な
8色のパリエーションから選べま
す。そのきわだった性能と外観は、
この車のドライバーに大きな誇り

と満足を、そして多くの人々に羨
望を感じさせずにはおかない稀有
なスポーツセダン、アウディ 80
クワトロ。この車こそ、まさにあ
なたが行きつく最後の車といえる
でしょう。



ボディカラー/シートの組合せ

インテリア シート (シート地:ツイード チェック)



ニグロ(JR)

ボディカラー



トルネード レッド(G2)



ツェルマツ シルバー(L1)※



モンテゴ ブラック(L3)※



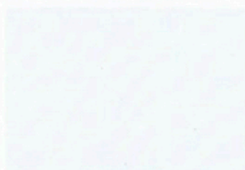
セイブル ブラウン(L4)※



アマゾン ブルー(L6)※



オーシャン ブルー(L7)※



アルパイン ホワイト(P1)



ラサ(W1)※

※本仕様・標準装備・諸元表は予告なく変更される場合があります。●ヤナセが日本に輸入する車は、安全対策および研究開発の観点で現行の国内仕様をすべて採用しています。●道路運送車両法に基づき保安基準に適合させるため、ブレーキ、ヘッドレスト、灯火類等改造指示によって行なわれる改造により、納入車輦はカタログに記載された写真と一部異なる場合がありますので、ご了承ください。詳しくは、もよりのアウティ販売店にお問合わせください。

標準装備	
ミッション	前進5段・後退1段マニュアル トランスミッション
タイヤ	195/60HR14 スチール ラジアル タイヤ
ホイール	6J×14アルミホイール
バッテリー	12V63Aバッテリー
外 装	ハログン角型4灯式シールドビーム ヘッドライト バンパー組込ハログン フォグ ランプ フロント エアダム スカート リヤ スポイラー リヤ アンダー スポイラー 巾広のプロテクティブ モール
	アジャスタブル 穴明けヘッドレスト付フルリクライニング スポーツ シート(フロント) 高さ調整可能式 ドライバース シート ハイバック リヤ シート
シート	
シートベルト	前席・二重感知タイプ3点式(メーカ純正) 後席・二重感知タイプ3点式 センター2点式(メーカ純正)
計 器 類	クォーツ クロック タコメーター メーター照度調節スイッチ コントロール類照明
	電子時計デジタル表示AM FMマルチ オートリバーズ カセットステレオ自動選局
オーディオ	4スピーカー
空 調	エア コンディショナー
内 装	ドア アームレスト ドア ポケット
	センター及びリヤ ティファレンシャル ロック ノブ 4本スポーク レザー張り ステアリング ホイール センター コンソール ドライバー側 パーセル シェルフ
ウォーニング	オーバーヒート警告灯 二回路油圧ブレーキ ウォーニング ランプ
ガ ード	プラスチックカバー バンパー 衝撃吸収式ハンドル
	パテッド タッチュボード
ブ レ ー キ	前後分割式2系統ブレーキ サーボアシスト付四輪ディスク ブレーキ ロック可能なセンター及びリヤ ティファレンシャル
	ネガティブ ステアリング ロール ラジマス セフティ セル構造ボディ センターパッド付セフティ ステアリング オール ティンテッドガラス(フロント合わせガラス) リヤ ドア チャイルドブルーフ ロック付
そ の 他	パワー ウィンドー(フロントのみ) パワー ステアリング ヘッドライト ウォッシュャー 電動式リモートコントロール熱線入り ドアミラー セントラル ロッキング システム 開けつ式 ワイパー クワトロ文字入り リヤ ウィンドー

主要諸元表		Audi 80 Quattro 4DR. M/T (左ハンドル)
●型式	E-853JT型	
●寸法・重量		
全長	mm	4,400
全幅	mm	1,680
全高	mm	1,380
ホイールベース	mm	2,525
トレッド 前/後	mm	1,405/1,415
最低地上高 空車時	mm	130
車輦重量	kg	1,230
乗車定員	名	5
●エンジン		
型式	J T 型	
種類	直列5気筒水冷 フロントエンジン	
内径×行程	mm	81.0×86.3
圧縮比	8.5	
最高出力 (DIN) ps /rpm	120 / 5,500	
最大トルク (DIN) kgm /rpm	17.3 / 3,000	
燃料供給装置	機械式燃料噴射装置	
燃料タンク容量	ℓ	70
使用燃料	無鉛ガソリン	
●諸装置		
クラッチ	乾燥単板ダイヤフラム	
トランスミッション	前進5段 オールシンクロメッシュ 後退1段	
変速比	第1速	3.600
	第2速	2.125
	第3速	1.458
	第4速	1.071
	第5速	0.829
後 退	3.500	
最終減速比	4.111	
フロント サスペンション	マクファーソンストラット	
リヤ サスペンション	マクファーソンストラット	
ブレーキ	前・後輪ディスク	
使用タイヤサイズ	195/60HR14	

●本仕様・標準装備・諸元表は予告なく変更される場合があります。●ヤナセが日本に輸入する車は、安全対策および研究開発の観点で現行の国内仕様をすべて採用しています。●道路運送車両法に基づき保安基準に適合させるため、ブレーキ、ヘッドレスト、灯火類等改造指示によって行なわれる改造により、納入車輦はカタログに記載された写真と一部異なる場合がありますので、ご了承ください。詳しくは、もよりのアウティ販売店にお問合わせください。

ヤナセは安心とサービスをお届けします。

長期ローン

長期ローンで今すぐ
世界の名車を

ヤナセ オートローンをご利用いただけますと最長48回までの長期お支払でお手軽に世界の名車をお求めいただけます。お支払い方法は銀行口座より自動引落し、手続きは簡単です。お近くのヤナセ ネットワークでお気軽にご相談ください。

アフターサービス

ヤナセの信頼と
JAFの安心

ヤナセはJAF(日本自動車連盟)との提携により、夜間、休祭日のロードサービスを全面的にJAFに委託しております。ヤナセ取換車を購入いただけますと、入会金と初年度会費を取換・取替が負担いたします。

ヤナセ メンバーズ カード

新しいライフ スタイルの
ために

ヤナセ メンバーズ カードをお持ちのお客さまは全国のヤナセ ネットワークいつでもキャッシュレスで決済いただけます。また分割払いや数々の特典をご利用いただけます。

パーツ供給

デポから、全国の
ネットワークへ。

北は北海道から、南は沖縄まで、ヤナセ サービスネットへの部品供給体制の拡充に絶えず努力を続けています。

いいものだけを世界から

good new days
人間らしく美しい未来を

ヤナセ

総輸入元 株式会社ヤナセ
フイルクスワーゲン・アウティ事業部
〒105 東京都港区芝浦1丁目6-38
電話(大代表) 東京(03)452-4311